

# PRESS RELEASE

2018. 4. 9

一般社団法人静岡県信用金庫協会

## 第46回県内12信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年10月以降、県内12信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,134社にアンケート調査を実施し、1,123社から得た回答（有効回答率99.0%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

### 「県内中小企業等の景況感DIは小幅なマイナス化」

#### 【概況】

平成30年1~3月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（平成29年10月～12月「以下同じ」）の3.9から▲2.2へと6.1ポイントの悪化となり、前回調査の「良い」超から「悪い」超の小幅なマイナス化となった。

業種別にみると、製造業、建設業がプラス水準を維持したものの、不動産業（前回調査6.3→今回調査▲7.7、以下同じ）、サービス業（0.9→▲6.3）がマイナス化、卸売業（0.0→▲21.9）が大幅な悪化となった。

これを地区別の業況DIでみると、西部地区ではプラス水準を維持したものの、東部地区ではマイナス幅が拡大、中部地区ではマイナス化した（地区別の詳細は次頁のとおり）。

なお、各地区とも人手不足感、原材料費の高騰などを経営課題として掲げている。

#### 県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2016年				2017年				2018年	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6 (見通し)
東部地区	▲21.5	▲25.6	▲19.0	▲13.0	▲18.8	▲20.7	▲7.5	▲3.9	▲12.0	▲10.8
中部地区	▲18.4	▲22.7	▲7.3	0.6	▲10.4	▲2.7	4.4	6.7	▲6.3	2.1
西部地区	▲14.0	▲17.1	▲16.5	▲9.6	▲2.9	▲3.0	▲0.8	7.5	3.9	2.4
県内計	▲16.9	▲20.4	▲15.8	▲9.2	▲8.7	▲8.5	▲2.1	3.9	▲2.2	▲1.9

なお、平成30年4~6月の業況見通しは、西部ではプラス幅が縮小するものの、中部ではプラス化、東部ではマイナス幅が縮小する見通しとしていることから、県全体では、マイナス幅がやや縮小し▲1.9と小幅なマイナス予想となっている。

## ■東部地区

東部では、製造業がプラスを維持（15.0→12.9）したものの、卸売業42ポイント（6.5→▲35.5）、不動産業25ポイント（0.0→▲25.0）と大幅に悪化したことなどから、全産業ベースの業況DIは前回調査の▲3.9から▲12.0と▲8.1ポイントの悪化となった。

### 製造業

業況は、大手メーカーからの受注により安定している事業所もみられるが、紙パルプ関連の悪化もあって、業況DIのプラス幅はやや縮小した。人手不足の解消、効率化、生産性向上のために設備導入を考えるも、実施までに至らない企業が多い。

今後の見通し（平成30年4～6月期・以下同じ）としては、人手不足や原材料価格の上昇はあるものの、売上、受注の増加からプラス幅の拡大を見込んでいる。

#### （事業者の声）

- ・後継者問題が進展せず、また、従業員の高齢化も問題となっている。 (機械部品加工)
- ・同業他社との競争は厳しいが、デザイン部門に注力することで他社との差別化を図っている。代表者を中心に取り組むも、右腕となる存在がないことが課題。 (印刷機)
- ・ISOの審査もあり、設備の改修を要する。新工場について用地は取得できているが、人員確保ができず、建設着工に至っていない。 (プラスチック製品)
- ・人手不足解消のために機械導入を検討している。 (紙加工)

### 卸売業

業況は、文具・事務機販売は取引先企業の業況回復により堅調なところもみられるが、仕入価格の上昇などにより、仕入れが不安定な先もみられ、前回調査時より業況は大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、業況DIのマイナス幅は縮小するものの、仕入価格の上昇、人手不足感から、「悪い」超の高水準は続く見込みとしている。

#### （事業者の声）

- ・中国の物価の上昇により仕入価格も上昇しているため、販売単価の値上げ交渉を実施している。 (作業用品・日用品)
- ・取引先の業績不振や廃業、天候不順により売上も収益も低調である。販路拡大についても具体的な改善策は乏しい。 (食料品卸)
- ・天候不順により野菜などの仕入価格が上昇した。 (青果卸)
- ・中国への輸出状況によって国内の古紙の価格が左右される。仕入にも影響するため、安定確保する施策が必要。 (製紙原料卸)
- ・現状維持が限界であり、事業拡大は見込めない。 (食料品卸)

### 小売業

業況は、仕入価格は上昇するも、販売価格への転換ができない事業所が多くみられ、売上、収益ともに低調であり、同業者間や大型店と競争激化もあって、依然として業況DIの悪化水準は高く、厳しい状況が続いている。

今後の見通しとしては大型店やネット販売との競合から売上・収益ともに改善材料に乏しく、横ばいを見込んでいる。

#### （事業者の声）

- ・排ガス規制厳しく、排ガス対応車両の価格が上昇している。 (オートバイ販売・修理・車検)
- ・同業者の廃業、新規参入、大手スーパー等の競業が多い。 (乳製品小売)
- ・消費者の購買意欲が年々減少しているように感じられる。また、商店街の活性化についても若年層の関与も乏しく、衰退を懸念している。 (食料品小売)
- ・大型店やインターネット販売との競合により、業況は厳しい。 (文房具小売)

- ・人手不足。人材確保と教育・訓練による人材育成が必要である。その中でサービス面・アフターフォロー等、他社との差別化を図っていく。

(自動車販売)

### サービス業

業況は、宿泊・宴会はシーズンオフといった季節要因もあるが、消費マインドの改善はみられず、前回調査時に比べ悪化となつた。

今後の見通しとしては、消費者の所得環境は改善傾向にあることを期待しているが、売上、収益の回復遅れから、悪化を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・人手不足が深刻化し、受入態勢に影響が生じてきている。 (宿泊・宴会)
- ・個別企業努力はもちろんだが、地域全体としての観光への取り組み強化が急務 (宿泊・宴会)
- ・設備の老朽化が目立ってきているが、業況厳しく、修繕等の対応が困難。 (宿泊・宴会)
- ・姉妹店出店を踏まえ従業員増員したいも、人手不足感大きい。 (美容業)
- ・市が誘致しているサイクリストやツーリストの流れに乗りたい。 (飲食・民宿)

### 建設業

業況は、大型受注がある先、主受注先が安定している先等は安定しているが、人手不足や従業員の高齢化、更には、原材料仕入単価の高騰による収益の圧迫から、業況はやや悪化した。

今後の見通しとしては、大手企業や首都圏からのオリンピックや新東名関連の受注増加への期待感があるものの、先行きの不透明感から悪化を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・完工数は増加傾向にある。販売形態を建売にすることで販売促進を図っている。 (総合建設)
- ・従業員の高齢化が顕著であり、若手の確保が必要。 (総合建設)
- ・受注は安定してきているが、材料等の価格が不安定で動向に注視する必要がある。 (総合建設)
- ・経営者が高齢であることから、事業継続・事業承継を積極的に検討していく必要がある。(給排水衛生設備工事)
- ・個人からの建築・リフォームを主としているが、競争も厳しく利幅は減少。特にリフォームは安価で請負う業者も多く、新規顧客からの受注は難しくなっている。 (建築業)

### 不動産業

業況は、不動産そのものの「動き」に若干鈍化傾向が見受けられることに加え、販売単価の下落もあって、大幅に悪化した。

今後の見通しとしては、不動産の供給過剰や人手不足・同業者間の競争激化などの経営課題はあるものの改善を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・個人向居宅の販売は、中古・建売が堅調。 (不動産仲介販売)
- ・震災以降人気だった高台から、近時は津波の心配なく、生活利便な地に人気集中。営業人員が不足している。 (不動産仲介)
- ・他社との競争は続いているものの、価格等に大きな変動はない。 (不動産)
- ・商品在庫を保有せず仲介に特化することでリスクを回避している。 (不動産仲介)

## ■中部地区

中部では、建設業が 12.3 ポイント ( $9.1 \Rightarrow 21.4$ )、サービス業が 11.1 ポイント ( $0.0 \Rightarrow 11.1$ )、と大幅に改善したものの、製造業 ( $9.6 \Rightarrow \Delta 5.3$ )、卸売業 ( $4.5 \Rightarrow \Delta 42.9$ ) とともにマイナス化、小売業が 7.5 ポイント ( $\Delta 12.5 \Rightarrow \Delta 20.0$ ) 悪化したことなどから、全産業ベースの業況DI は、前回調査時の 6.7 ポイントから  $\Delta 6.2$  ポイントへとマイナス化となった。

### 製造業

業況は、原材料価格の上昇が収益面に影響しており、業況DI はマイナス化となった。

今後の見通しとしては、売上の増加が見込まれることから、業況DI は 2 衍の大幅な改善となる見込み。

(事業者の声)

- ・営業に力を入れたいが、営業ができる人材が不足している。 (木型製造業)
- ・業界全体が低迷傾向にあり、打開策を模索中。海外への販路開拓も検討しているが、海外で需要があるものとして、無農薬が条件となってしまうことから厳しい面もある。 (製茶業)

### 卸売業

業況は、仕入価格の上昇に加え、売上、収益ともに大幅な減少となっていることから、前回調査時に比べ、業況DI はマイナス化し、悪化水準も高いものとなっている。

今後の見通しとしては、引き続き、仕入価格の上昇を見込んでおり、「悪い」超の高水準は続く見込み。

(事業者の声)

- ・年末需要が一段落し、年明け以降の売れ行きは低調推移。赤身商材の価格が落ち着いてきたが、動きは鈍く在庫もやや過剰な状況。 (水産物卸売業)
- ・仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できない。 (建築用資材卸売業)

### 小売業

業況は、仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できない面もみられ、前回調査時に比べ悪化している。

今後の見通しとしては、売上、収益の増加からプラス化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・売上高は前年同月並みに推移。営業時間短縮（閉店時間を 1 時間早めた）による人件費削減が図られ増益となっている。 (カー用品販売業)
- ・厳しい寒さから冬物衣料が好調であった。 (衣料品小売業)

### サービス業

業況は、深刻な人手不足となっているものの、サービスで提供する料金価格の見直しなどから業況DI はプラス化した。

今後の見通しとしては、人手不足に加え、売上、収益の減少から、再びマイナス化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・茶葉関連の地元事業者のみならず、鹿児島県内からの受注も増加している。 (運送業)
- ・減収減益、深刻な人手不足、同業者間の競争激化が経営上の問題点となっている。 (自動車整備・販売業)

### 建設業

業況は、受注残、収益の増加から、業況DI のプラス幅は拡大し 2 衍のプラスとなった。

今後の見通しとしては、売上、収益ともに減少を予想していることから、業況DI はマイナス化する見込み。

(事業者の声)

- ・建設業界は大手参入による競争激化となっており、事業環境は厳しい状況にある。その環境下においても自社の販売網や下請先との連携を活かし、安定的な受注を確保できている。  
また、M&A 等の事業拡大も視野に入れている。 (総合建築業)
- ・従業員の高齢化が進んでしまっている。 (土木・建設業)

## 不動産業

業況は、在庫不足もあって業況DIのプラス幅は縮小したものの、売上、収益の増加から2桁のプラスを維持している。

今後の見通しとしては、業況DIのプラスが更に拡大するなど底堅い見込みとなっている。

(事業者の声)

- ・商品不動産の販売が好調な一方で、在庫不足となっている。
- ・商品不動産の不足、仕入値の高騰化が続いている状況。

(土地開発・分譲販売)

(土地開発・分譲販売業)

## ■西部地区

西部では、小売業が15.1ポイント改善( $\Delta 26.0 \Rightarrow \Delta 11.0$ )したものの、製造業( $16.0 \Rightarrow 11.7$ )、建設業( $16.0 \Rightarrow 7.3$ )がプラス幅の縮小、卸売業( $\Delta 3.7 \Rightarrow \Delta 13.3$ )が悪化したことなどから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の7.5から3.9へとプラス幅が縮小した。

## 製造業

業況は、売上、受注残、収益が減少したため、業況DIのプラス幅が縮小したが、引き続き2桁のプラス水準を維持した。

今後の見通しとしては、人手不足感の継続や売上、収益の減少見込みによりプラス幅はやや縮小するものの、引き続きプラス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大手自動車メーカー関連の受注増加により、業況は好調である。 (自動車)
- ・代表者に限らず従業員も高齢化しており人員確保、人材確保に努めている。 (プラスチック)
- ・受注はあるものの人手が不足しており、期日に間に合わせることで精一杯となっている。 (木材)
- ・売上は好調であるが、今後の見通しは不透明であり、賃上げは厳しい状況である。 (繊維)

## 卸売業

業況は、仕入価格の上昇、売上、収益が減少したことから、悪化した。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇が続くものの、売上、収益の増加により改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・東京五輪特需後の業況が不透明なため人員増には慎重に対応している。 (木質素材卸売)
- ・EV化に伴う新たな販路を開拓したい。 (鋼板)
- ・商談会に積極的に参加するなどして、販路拡大に努めている。 (建築材料卸)

## 小売業

業況は、売上や収益はやや減少したものの、販売価格の上昇などにより改善したが、「悪い」超の高水準は依然として続いている、個人消費の回復は遅いものとみられる。

今後の見通しとしては、売上の減少や販売価格の低下により、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・慢性的に人手不足であり求人しても人材が確保できない。 (ガソリンスタンド)
- ・セールなどで売上は増加したが利益率は減少した。 (衣料品小売)
- ・不採算店舗を閉店したため利益率が向上、今期は大幅な利益計上を見通している。 (飲食料品小売)

## サービス業

業況は、売上や収益の減少に伴い、業況DIはマイナス化となった。

今後の見通しとしては、売上、収益は大きく増加し、業況DIは再びプラス化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大河ドラマ終了後の落ち込みが懸念される。 (宿泊)

- ・既存顧客に対し通信アプリ「LINE」にて情報を発信し深耕を図っている。 (理容業)
- ・売上は前年度並みで推移しており、今期決算も黒字となる見込み。慢性的な人手不足を感じている。 (自動車整備)

### 建設業

業況は、売上、受注残などの減少に伴い、業況DIはプラス幅が縮小したものの、引き続きプラス水準を維持した。今後の見通しとしては、売上などの減少により、業況DIはマイナス化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・自動車関連や大手企業など、工場の修繕が増えている。 (総合工事業)
- ・人材確保のため学生向けインターンシップ、職場体験等の採用活動を積極的に行っていている。 (総合工事業)
- ・東京五輪まで受注状況は良好に推移していく見込み。 (一般建築工事業)
- ・大手住宅メーカーとの競争が激しいこと等により、受注状況は大変厳しいものとなっている。 (一般建築工事業)
- ・今期は工事受注も減っており、特に大型工事が少ない。売上、利益は減少傾向にある。 (建築工事業)

### 不動産業

業況は、売上は増加したものの、業況DIのプラス幅はやや縮小した。

今後の見通しとしては、ほぼ横ばいのプラス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・金利の低下に伴い、不動産業界は活況。賃料も上昇傾向にある。 (貸家業)
- ・アパート経営で入居率も安定推移しだけたな変化は無い。 (貸家業)
- ・海岸線沿いの物件は依然として動きが鈍く、販売価格の下降が見られる。 (不動産仲介業)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

## 資料 1

### 1. 業況(全業種)

	今回調査(2018年1~3月期)						前回調査(2017年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.1%	17.5%	46.8%	27.6%	5.0%	▲ 12.0	3.9%	20.5%	47.4%	20.5%	7.8%	▲ 3.9
中部地区	5.2%	17.7%	47.9%	22.9%	6.3%	▲ 6.3	3.7%	26.7%	45.9%	17.0%	6.7%	6.7
西部地区	4.1%	23.2%	49.3%	19.3%	4.1%	3.9	3.9%	24.1%	51.4%	17.3%	3.2%	7.5
県内合計	3.8%	20.9%	48.4%	22.3%	4.6%	▲ 2.2	3.9%	23.3%	49.5%	18.3%	5.0%	3.9

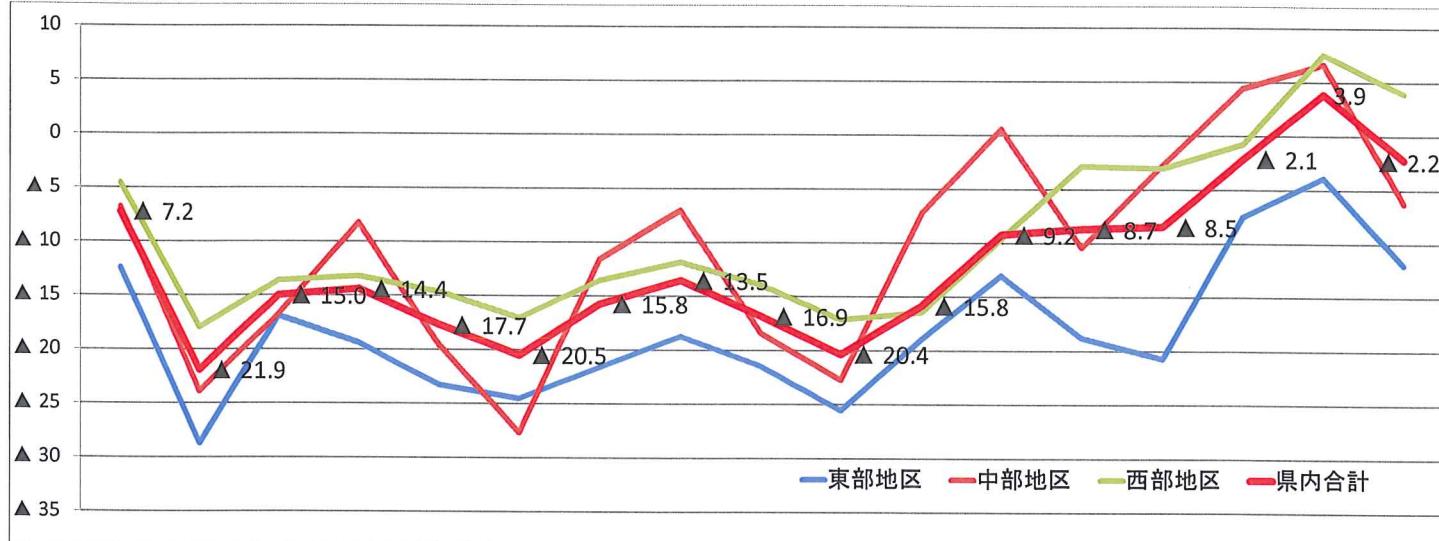
### 2. 業況予想(全業種)

	2018年4月~6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.2%	15.0%	54.7%	23.1%	5.0%	▲ 10.8
中部地区	5.2%	21.9%	47.9%	18.8%	6.3%	2.1
西部地区	2.9%	19.7%	57.2%	17.2%	3.0%	2.4
県内合計	2.9%	18.4%	55.6%	19.2%	3.9%	▲ 1.9

### 3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2014年 1~3月期	2014年 4~6月期	2014年 7~9月期	2014年 10~12月期	2015年 1~3月期	2015年 4~6月期	2015年 7~9月期	2015年 10~12月期	2016年 1~3月期	2016年 4~6月期	2016年 7~9月期	2016年 10~12月期	2017年 1~3月期	2017年 4~6月期	2017年 7~9月期	2017年 10~12月期	2018年 1~3月期
東部地区	▲ 12.4	▲ 28.7	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0
中部地区	▲ 6.8	▲ 23.9	▲ 16.8	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3
西部地区	▲ 4.6	▲ 18.0	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9
県内合計	▲ 7.2	▲ 21.9	▲ 15.0	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2

### 県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



## 資料 2

### ・業種別業況

#### 1. 東部地区

	今回調査(2018年1~3月期)						前回調査(2017年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.0%	29.7%	45.5%	17.8%	3.0%	12.9	5.0%	28.0%	49.0%	13.0%	5.0%	15.0
卸売業	3.2%	3.2%	51.6%	35.5%	6.5%	▲ 35.5	0.0%	22.6%	61.3%	16.1%	0.0%	6.5
小売業	3.6%	6.0%	44.0%	39.3%	7.1%	▲ 36.9	2.3%	12.6%	35.6%	34.5%	14.9%	▲ 34.5
サービス業	3.7%	18.5%	44.4%	24.1%	9.3%	▲ 11.1	3.7%	18.5%	50.0%	18.5%	9.3%	▲ 5.6
建設業	1.8%	22.8%	50.9%	21.1%	3.5%	0.0	5.3%	21.1%	50.9%	14.0%	8.8%	3.5
不動産業	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	▲ 25.0	6.3%	18.8%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0
全業種	3.1%	17.5%	46.8%	27.6%	5.0%	▲ 12.0	3.9%	20.5%	47.4%	20.5%	7.8%	▲ 3.9

#### 2. 中部地区

	今回調査(2018年1~3月期)						前回調査(2017年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	7.9%	15.8%	47.4%	18.4%	10.5%	▲ 5.3	7.7%	28.8%	36.5%	17.3%	9.6%	9.6
卸売業	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	▲ 42.9	0.0%	27.3%	50.0%	18.2%	4.5%	4.5
小売業	0.0%	13.3%	53.3%	33.3%	0.0%	▲ 20.0	0.0%	12.5%	62.5%	12.5%	12.5%	▲ 12.5
サービス業	0.0%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	11.1	7.1%	14.3%	57.1%	21.4%	0.0%	0.0
建設業	0.0%	42.9%	35.7%	7.1%	14.3%	21.4	0.0%	27.3%	54.5%	13.6%	4.5%	9.1
不動産業	33.3%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7	0.0%	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%	33.3
全業種	5.2%	17.7%	47.9%	22.9%	6.3%	▲ 6.2	3.7%	26.7%	45.9%	17.0%	6.7%	6.7

#### 3. 西部地区

	今回調査(2018年1~3月期)						前回調査(2017年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.6%	25.0%	52.5%	15.4%	2.5%	11.7	4.6%	29.3%	48.1%	15.4%	2.5%	16.0
卸売業	2.4%	18.1%	45.8%	25.3%	8.4%	▲ 13.3	4.9%	18.5%	49.4%	24.7%	2.5%	▲ 3.7
小売業	2.7%	23.3%	37.0%	27.4%	9.6%	▲ 11.0	1.4%	15.1%	41.1%	30.1%	12.3%	▲ 26.0
サービス業	2.1%	18.8%	54.2%	22.9%	2.1%	▲ 4.2	4.1%	16.3%	67.3%	12.2%	0.0%	8.2
建設業	3.7%	23.2%	53.7%	18.3%	1.2%	7.3	3.7%	24.7%	59.3%	9.9%	2.5%	16.0
不動産業	11.1%	25.9%	33.3%	22.2%	7.4%	7.4	1.8%	20.0%	61.8%	16.4%	0.0%	5.5
全業種	4.1%	23.2%	49.3%	19.3%	4.1%	3.9	3.9%	24.1%	51.4%	17.3%	3.2%	7.5

#### 4. 県内合計

	今回調査(2018年1~3月期)						前回調査(2017年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.8%	25.3%	50.5%	16.2%	3.2%	10.6	5.0%	29.0%	47.1%	15.1%	3.8%	15.1
卸売業	2.3%	12.5%	48.4%	29.7%	7.0%	▲ 21.9	3.0%	20.9%	52.2%	21.6%	2.2%	0.0
小売業	2.9%	14.0%	41.9%	33.7%	7.6%	▲ 24.4	1.7%	13.6%	40.3%	30.7%	13.6%	▲ 29.0
サービス業	2.7%	19.8%	48.6%	23.4%	5.4%	▲ 6.3	4.3%	17.1%	58.1%	16.2%	4.3%	0.9
建設業	2.6%	24.8%	51.0%	18.3%	3.3%	5.9	3.8%	23.8%	55.6%	11.9%	5.0%	10.6
不動産業	7.7%	16.9%	43.1%	29.2%	3.1%	▲ 7.7	3.1%	22.9%	54.2%	19.8%	0.0%	6.3
全業種	3.8%	20.9%	48.4%	22.3%	4.6%	▲ 2.2	3.9%	23.3%	49.5%	18.3%	5.0%	3.9

### 資料 3

#### ・業種別予想

##### 1. 東部地区

	2018年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.9%	25.7%	57.4%	9.9%	1.0%	20.8
卸売業	3.2%	9.7%	51.6%	29.0%	6.5%	▲ 22.6
小売業	1.2%	10.6%	43.5%	35.3%	9.4%	▲ 32.9
サービス業	0.0%	7.4%	61.1%	22.2%	9.3%	▲ 24.1
建設業	0.0%	14.0%	54.4%	28.1%	3.5%	▲ 17.5
不動産業	0.0%	12.5%	68.8%	18.8%	0.0%	▲ 6.3
全業種	2.2%	15.0%	54.7%	23.1%	5.0%	▲ 10.8

##### 2. 中部地区

	2018年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	10.5%	28.9%	44.7%	7.9%	7.9%	23.7
卸売業	0.0%	0.0%	57.1%	35.7%	7.1%	▲ 42.9
小売業	6.7%	20.0%	53.3%	20.0%	0.0%	6.7
サービス業	0.0%	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%	▲ 11.1
建設業	0.0%	14.3%	50.0%	21.4%	14.3%	▲ 21.4
不動産業	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3
全業種	5.2%	21.9%	47.9%	18.8%	6.3%	2.1

##### 3. 西部地区

	2018年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.6%	23.2%	53.6%	15.8%	2.8%	9.3
卸売業	1.2%	14.5%	65.1%	13.3%	6.0%	▲ 3.6
小売業	1.4%	13.7%	53.4%	23.3%	8.2%	▲ 16.4
サービス業	0.0%	16.7%	70.8%	12.5%	0.0%	4.2
建設業	1.2%	20.7%	52.4%	25.6%	0.0%	▲ 3.7
不動産業	1.8%	16.4%	67.3%	14.5%	0.0%	3.6
全業種	2.9%	19.7%	57.2%	17.2%	3.0%	2.4

##### 4. 県内合計

	2018年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.4%	24.2%	53.7%	13.9%	2.8%	13.0
卸売業	1.6%	11.7%	60.9%	19.5%	6.3%	▲ 12.5
小売業	1.7%	12.7%	48.6%	28.9%	8.1%	▲ 22.5
サービス業	0.0%	12.6%	64.0%	18.9%	4.5%	▲ 10.8
建設業	0.7%	17.6%	52.9%	26.1%	2.6%	▲ 10.5
不動産業	1.1%	17.2%	65.6%	16.1%	0.0%	2.2
全業種	2.9%	18.4%	55.6%	19.2%	3.9%	▲ 1.9